

# 花粉の季節になる前に！ 新しいスギ花粉治療 「舌下免疫療法」

ドクターズコンテンツシリーズ #37

## はじめに

舌下免疫療法は2014年10月に保険適応が認められた、スギ花粉症の免疫療法です。スギ花粉を含む「シダトレン」という薬を舌の下にたらし、飲みこむ治療法で、皮下免疫療法と比べて痛みがなく、自宅ですべて服用できるので通院回数が減らせるというメリットがあります。



Doctor

喜平橋耳鼻咽喉科

むらかわ てつや  
村川 哲也 先生

## 舌下免疫療法による治療の流れ

免疫療法は、スギ花粉症などのアレルギーの根治を目的とした治療です。アレルギーに対して過剰に反応する状態がアレルギーですので、その過剰な反応をやめさせるために「アレルギーが敵ではない」と、体に教えるのが免疫療法の考え方です。



スギ花粉のアレルギー検査を行います。  
スギ花粉のアレルギー症状が確認できたら治療を始めます。



1回目の投与のみ医療機関で行います。  
薬を舌の下にたらしただまま2分間待ち、飲みこみます。  
院内で30分間安静にして医師が副作用がないかを確認します。



2回目以降は1日1回、自分で薬を投与します。  
最初の1週間は低濃度の薬を1プッシュから始め、少しずつ薬の量を増やし、  
8日目からは10倍の濃度の治療液をまた1プッシュから始めて、  
少しずつ量を増やしていきます。



3週間間から一定量の薬を1日1回投与し、3～5年続けます。  
初回の投与だけ医療機関で行えば、  
その後は毎日自分で服用するのが基本です。  
通院も月1回で済みます。

※治療の流れ・価格等は使用する医薬品によって異なります

## スギ花粉の季節に治療は始められません

舌下免疫療法は、**花粉が飛んでいる間は治療が受けられません。**  
花粉が飛んでいる時に薬を飲み始めるとアレルギーであるスギ花粉の吸収量が増えてしまい、  
花粉症の症状がひどくなるなど副作用のリスクが高まるからです。  
**スギ花粉が飛んでいない6月～12月の間に治療を始めましょう。**

## 舌下免疫療法のココだけは注意

### 受診できる医療機関が決まっている

舌下免疫療法は、稀ではありますがアナフィラキシーショックのような重篤な副作用が起こる可能性があります。そのため、舌下免疫療法を行う医療機関にはアレルギー症状が出た場合に備えて救急病院との連携が必要になるほか、医師には「アレルギー専門医かつ教育講習を受けて治療資格を得ること」が義務づけられています。



### 厳しい適応基準がある

舌下免疫療法は新しい治療法のため、安全面の観点から治療対象者が限定されています。次のような人は治療が受けられないので覚えておきましょう。(2015年11月現在)

舌下免疫療法を  
受けられない人

- スギ花粉のアレルギーであることを検査で証明できない人
- 12歳未満の子ども（皮下免疫療法は可能）
- 妊娠中あるいは授乳中、近いうちに妊娠希望の人
- 重度の気管支喘息、心疾患を持つ人
- がんや免疫系の病気を治療中の人
- ベータブロッカーという種類の高血圧の薬を飲んでいる人

上記にあてはまる項目がなく治療適応基準を満たしていても、薬を毎日服用するのが難しい人や、月1回の通院ができない人は治療が受けられません。

### 効果に個人差がある

舌下免疫療法の治療薬シダトレンの販売前に行われた臨床試験では、次のような報告があがっています。

舌下免疫療法を  
2年間行った結果

- 約2割の人が寛解した（症状がほとんど出なくなる）
- 約6割の人が症状が軽くなった

このように、舌下免疫療法は効果に個人差があります。約2割の人は残念ながら効果はありませんが、根治しなくても点鼻薬や点眼薬を減らす効果が期待できます。いずれにしても、8割の人に症状の改善がみられた有効な治療法です。

この他にも...

ドクターからの健康アドバイス「ドクターズコンテンツ」  
サイトでは様々な症例をご紹介します。

- 治療費の目安
- 副作用について
- 途中で飲み忘れたらどうなるの？  
など掲載中！

## アイチケット広場



<https://park.paa.jp/>